

# 住民の皆さんと力を合わせ 着実な自律のまちづくりを

平成18年度予算の内容と、主な事業をお知らせします。

## 一般会計予算の概要

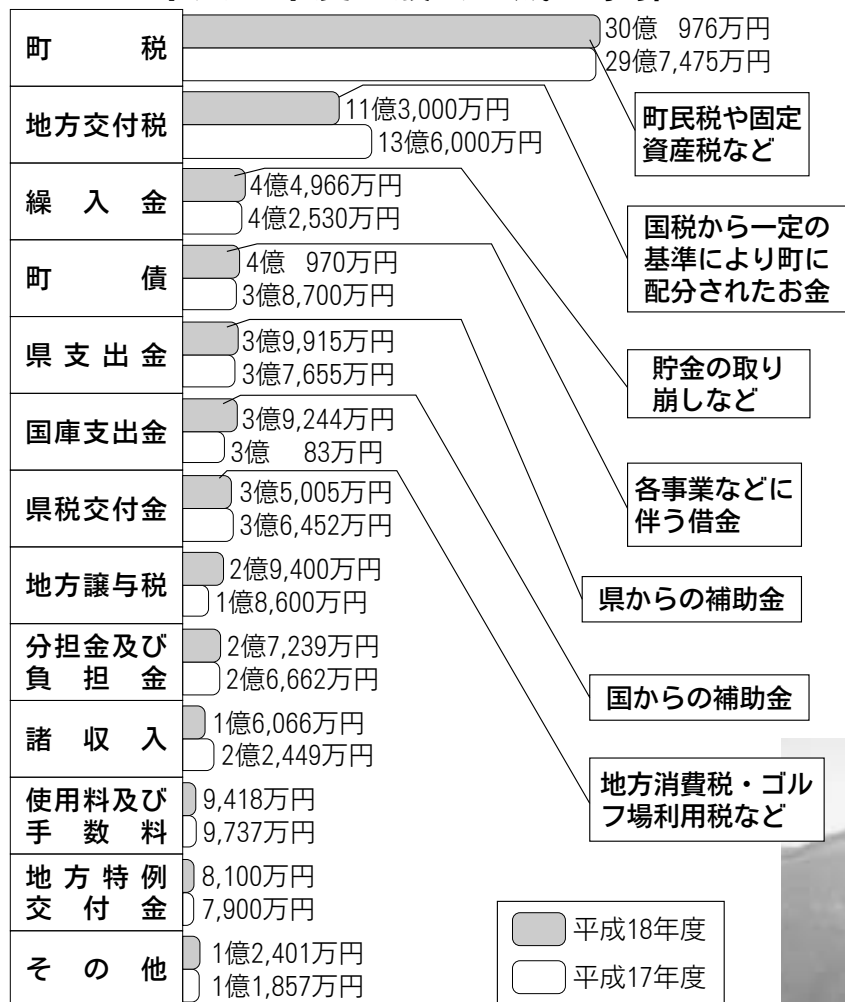
日野町の平成18年度一般会計予算は71億6千7百万円で、前年度とほぼ同額（6百万円の増）の緊縮的な予算編成となりました。

歳入については、町税は固定資産税の評価替えて約1億3千2百万円の減額となるものの税制改正や法人の景気回復などの影響により、全体で前年度に比べ約3千5百万円の増額を見込みました。しかし、地方交付税（臨時財政対策債を含む）は国の三位一体改革の影響などから約2億5千7百万円の減額を見込みました。これは、三位一体改革前の平成15年度と比べると約8億2千3百万円の減になります。これらの歳入不足を補うため、財政調整基金（貯金）などから4億4千9百万円を取り崩しました。

歳出については、人件費の抑制をはじめ各種補助金の見直しなどによって経費を削減する中で、町の最重要課題である日野中学校の整備費を予算化するとともに、自律のまちづくりを進めることを基本に、住民の皆さんの暮らしに密着した事業に対して優先的に予算を配分しました。

**平成18年度**  
**一般会計予算**  
**71億**  
**6,700万円**

平成18年度一般会計歳入予算



# 教育・文化

- ◆中学校改築に向け実施設計に着手、施設整備基金に1億円積み立て
- ◆日野幼稚園で預かり保育(延長保育)の実施
- ◆不登校、別室登校への対応を強化

中学校の改築に向けて実施設計費や建設費用の積み立てとして教育施設整備資金積立基金1億円を計上しました。また、各幼稚園で保育時間を30分延長午後2時までとし、日野幼稚園ではモデル事業として午後4時半まで(夏休みなどの長期休暇中も)預かり保育を実施します。さらに、不登校や別室登校への対応の強化、コンピュータ整備など教育環境の整備を図ります。

教育・文化の分野では、より充実して学び、ゆとりある暮らしができる環境をつくるための予算となるよう努めました。

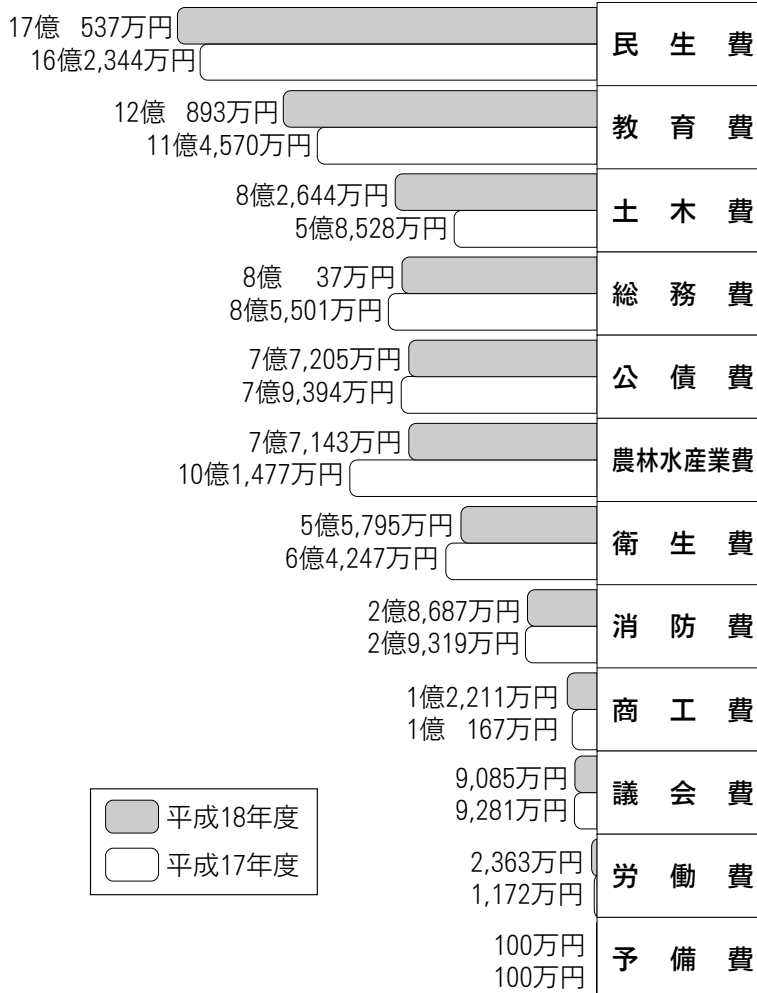
(主な予算)

<b>新</b> 中学校整備事業(実施設計費など)	5,235万円
<b>拡</b> 教育施設整備資金積立基金	1億円
<b>拡</b> 中学校別室登校の対応	297万円
町史編さん事業(第2巻「文化財編」発刊など)	4,788万円
公民館活動補助	1,001万円
幼稚園の教育振興	403万円
小学校の教育振興(コンピュータのリース料など)	4,522万円
中学校の教育振興	2,624万円
町民会館わたむきホール虹の運営費	8,933万円
図書館の運営費(図書・CD購入など)	2,032万円



**新** ……平成18年度新規事業      **拡** ……平成18年度拡充事業

## 平成18年度一般会計歳出予算(目的別)



平成18年度  
 平成17年度

## 平成18年度各会計予算

会計名	予算額
一般会計	71億6,700万円
老人保健特別会計	21億3,699万円
国民健康保険特別会計	16億4,010万円
介護保険特別会計	12億4,287万円
公共下水道事業特別会計	12億3,221万円
水道事業会計	8億9,366万円
農業集落排水事業特別会計	1億9,857万円
介護老人保健施設特別会計	6,697万円
住宅新築資金等貸付事業特別会計	1,501万円
簡易水道特別会計	1,423万円
西山財産区会計	223万円
合計	146億986万円

# 福祉・医療

- ◆西大路、桜谷の小規模学童保育所への町単独補助
- ◆食育、健康づくり事業の実施
- ◆障害児早期療育事業(めだかの学校)独自対応への準備

子育て支援、子どもの健全育成に向けて西大路、桜谷での小規模学童保育所（10人未満）へ町単独で補助します。また、食育に取り組み、生活習慣病予防対策を中心とした健康づくり事業を実施します。さらに、障害者自立支援法の施行や介護保険制度の改正へ対応し取り組みます。

福祉医療の分野では、毎年経費が増加していますが、住民の皆さんに安心して暮らしていただける予算となるよう努めました。

(主な予算)

<b>新</b> 障害者自立支援事業	1億9,484万円
<b>新</b> 障害者地域生活支援事業	418万円
<b>拡</b> 児童健全育成事業(学童保育所の運営)	1,188万円
障害者共同作業所入所助成	1,080万円
保育所の運営費	1億5,816万円
福祉医療費の助成	1億3,471万円
社会福祉協議会への補助	3,648万円
老人福祉施設への入所措置	1,719万円
老人保健事業(健康診査・がん検診・健康教室など)	2,554万円
児童手当の支給	1億5,895万円
母子保健事業(乳幼児健診・健康相談など)	802万円
予防接種事業	1,515万円
老人保健特別会計への繰出金	1億7,077万円
介護保険特別会計への繰出金	2億346万円



**新** ……平成18年度新規事業

**拡** ……平成18年度拡充事業

## 住民の皆さんとの信頼関係を大切に

日野町に限らず、全国のほとんどの市町村で、今の財政難に対応するため、事業の見直しと様々な工夫により、歳出を抑える努力がなされています。このような状況の中で、町は住民の皆さんとの信頼関係を大切に、しっかりとした協働関係を築きあげることが必要だと考えています。

そこで町では、昨年12月に策定した自律のまちづくり計画を踏まえ、平成18年3月に日野町行政改革大綱および日野町行政改革実施計画(集中改革プラン)を策定し、公表しました。(8・9ページでその概要を掲載していますので、ご覧ください)

これらの計画を見据えて、平成16年度から取り組んでいる事務事業の点検・評価結果を反映し、人件費、各種補助金・負担金などを見直し、主に次のような歳出削減を行います。

### 歳出削減の具体的な取り組み

(金額は対前年度比)

#### ① 人件費関係

約9千5百万円減

議会議員5%、町長10%、助役等7%、職員3%、管理職手当1~4%、調整手当・保育業務手当の廃止、退職者の不補充など

#### ② 町単独補助金の見直し

約1千3百万円減

**廃止** 「誉の松」建設補助、日野高等学校教育振興補助、花のまちづくり推進補助など

#### **縮減**

社会福祉協議会補助、老人クラブ補助など

# 産業振興

- ◆住宅リフォームの促進助成制度の継続
- ◆グリーン・ツーリズムの推進
- ◆しゃくなげ溪の遊歩道整備、旧正野薬店への公衆トイレ設置

町内経済の活性化を図るため今年も住宅リフォーム促進助成を実施します。また、観光施設の整備を図るとともに都市と農村部の交流を促進するためグリーン・ツーリズムの各事業（日野祭の曳山・日野菜収穫・林業体験）に取り組みます。

産業振興の分野では、活気のある町になるような予算となるよう努めました。

（主な予算）

<b>新</b> 観光施設整備事業(しゃくなげ溪遊歩道・旧正野薬店トイレ)	1,364万円
<b>新</b> 長寿の森奨励事業	48万円
<b>拡</b> 水田農業推進対策事業	1,427万円
住宅リフォームの促進助成	500万円
グリーン・ツーリズム推進事業	48万円
有害鳥獣の駆除	452万円
日野川流域土地改良事業など	3億9,915万円
グリム冒険の森の運営経費	2,505万円
商工会への補助	1,417万円
観光協会への補助	1,446万円
林業センター、勤労福祉会館空調整備	2,300万円
森林整備地域活動支援事業	750万円
森林組合への補助	257万円
町内の小規模企業経営者への資金融資など	2,318万円
農業集落排水事業特別会計への繰出金	9,713万円



**新** ……平成18年度新規事業      **拡** ……平成18年度拡充事業

### ③負担金の見直し

約百万円減

**脱会**

カモシカ被害対策協議会、日本公園緑地協会、全国都市公園整備促進協議会、博物館協議会

**縮減**

交通安全対策協議会、防犯自治会、蒲生郡町村議会議長会など



▲みんなで地域の子どもの安全を守る取り組みが進められています。(南比都佐地区)

### ④委託料の見直し

約1千百万円減

庁舎管理業務、公園管理業務、音羽城址清掃業務、公の施設の指定管理者制度導入など

### ⑤経費の節減

約4百万円減

公用車の集中管理、新聞購読部数の見直し、広告料の見直しなど

次ページへつづく

# 公共事業

◆公共下水道整備事業費は前年比81%増を確保  
◆内池水口線など町道道路改良を実施

公共下水道事業は、※地域再生法に基づく地域再生のための支援策のひとつである汚水処理施設整備交付金を活用することにより、事業費は前年度に比べ81%増を確保し、着実に整備を進めます。道路整備は、懸案となっている町道内池水口線をはじめ町道整備・改良に取り組みます。

また、県事業は引き続き要望を行い、事業を進めます。

(主な予算)

拡 町道の改良、整備	5,100万円
町道の維持補修費	1,083万円
拡 緊急地方道路整備交付金事業	2億4,354万円
急傾斜地の整備	3,165万円
拡 公共下水道事業特別会計への繰出金	3億3,021万円
東部農道・国道・県道などの県事業負担金	902万円



拡 ……平成18年度拡充事業



※地域再生法

地域経済の活性化、地域における雇用機会など“地域再生”を支援する法律

⑥事務事業の廃止

約5百万円減

心身障害児施設入所助成、外出支援（通院介助）  
サービスマスター、元気印むらづくり支援事業など

⑦事務事業の縮小・制度の見直し

約8百万円減

男女共同参画事業、100歳敬老祝金、障害者自動車  
ガソリン助成、福祉タクシー助成、町単独福祉医  
療費助成、就学児童手当、心身障害児就学奨励金  
など



▲健康推進員さんが中高年男性の食生活の改善を目的とした料理教室を開催されています。

⑧受益者負担の見直し

約4百万円減

予防接種の自己負担の見直し、公民館使用料の減  
免規定の見直し、グリム冒険の森使用料の見直し  
など

# まちづくり

- ◆憲法公布60年事業
- ◆木造住宅耐震・バリアフリー改修補助
- ◆集落での河川管理事業(浚渫<sup>しゅんせつ</sup>など)を実施

今年は憲法公布60年の記念の年に当たります。憲法を暮らしに活かし、その理念を実践するために記念事業に取り組みます。

また、自治会などで実施するコミュニティ活動に対する助成事業を引き続き実施します。

さらに、日野町の取り組みが県の新規事業に発展した、集落による河川浚渫事業を実施します。

(主な予算)

<b>新</b> 木造住宅耐震・バリアフリー整備事業	70万円
元気ある地域活動推進事業	173万円
東近江行政組合(消防など)の運営負担金	2億6,039万円
路線バスの運行経費	3,854万円
交通安全施設整備事業	766万円
河川管理事業	390万円
里道改良補助	550万円
環境保全対策事業	738万円
ごみの収集事業経費	8,220万円
中部清掃組合(ごみ処理)の運営負担金	1億6,040万円
八日市衛生プラント組合(し尿処理)の運営負担金	9,657万円
布引斎苑組合(火葬)の運営負担金	2,500万円



**新** ……平成18年度新規事業



⑨国・県の補助制度の見直しに伴う事務事業等の見直し

民生委員児童委員活動補助、障害者共同作業所入所補助、老人クラブ補助、学童保育所補助、県単独福祉医療費助成、元気ある農業者経営基盤強化補助など

約4百万円減



みんなで支え合って  
温かいまちに  
しましろう